

令和3年8月5日

丹後農業改良普及センター

## (技術情報) 台風に備える農作物管理について

現在南シナ海と宮古島付近にある2つの熱帯低気圧が、5日までに台風が発達し、7日～9日にかけて日本付近に影響を及ぼすことが予想されています。梅雨明け以降の高温の影響で海水温が高く、台風の勢力が強まると予想されることから、大雨・強風等による農作物被害が懸念されます。



つきましては、農作物の台風対策に関する技術資料を作成しましたので、参考にしてください。

### < 水稻 >

#### (1)通過前

- ①台風に伴う強風による倒伏や暑く乾いた空気による葉の乾燥などを防ぐため深水管理に努めるとともに、稲が水没しないようあらかじめ排水口を調節しておく。
- ②早生品種（稲 WCS 等）で刈取適期になっているものは、速やかに刈り取る。

#### (2)通過後

- ①滞水している場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- ②穂いもちの発生状況に注意し、適切に防除を行う。

## < 豆類 >

### (1) 通過前

- ①必ず排水路、排水口等の点検を行い、滞水を発生させないようにする。
- ②黒大豆については、支柱・ビニールひも等による倒伏防止対策を行う。

### (2) 通過後

- ①黒大豆・小豆では、倒伏して茎や莢が地面についていると腐敗するので、その部分を直ちに起こす。その後、腐敗防止のため、直ちに殺菌剤の散布を行う。
- ②浸水・冠水した場合は、速やかにほ場の排水を図り、病虫害防除を行う。特に小豆については、茎疫病の防除のため殺菌剤の散布を行う。

## < 野菜、花き >

### (1) 通過前

- ①ハウス栽培については、ハウス内に風が吹き込まないように、被覆資材の破損部を補強し、しっかりと閉めきる。また、資材固定金具やハウスバンドが緩んでいないか点検して締め直し、サイドが風であおられないよう固定する。
- ②露地栽培では、支柱やフラワーネットを点検して補強し、しっかり固定する。直播きでまだ生育初期のものは、べたがけ資材等で茎葉を押さえる。その際、べたがけ資材は、風にあおられないようにしっかり固定する。
- ③ほ場が冠水しないよう、排水路を整備する。

### (2) 通過後

- ①滞水している場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- ②液肥（500～1,000倍）を施用し、草勢の早期回復を図る。
- ③風雨による傷からの病害が予想されるのでこまめに観察し、発生初期に防除する。
- ④収穫可能なら速やかに収穫。また、播種直後で発芽不良の場合、直ちに播き直す。

## < 果樹 >

### (1)通過前

- ①防風ネットは、柱の倒壊を防ぐため、控え線や杭を打って補強する。また、ネットの破れ目を補修しておく。

果樹棚は、周囲線の留め金、アンカーからの控え線、吊り線を点検し、切れないように補強しておく。また、棚の揺れ止め補強を行っておく。

ハウス（雨よけ含む）では、被覆が破れないように、押さえバンドで補強するとともに、ハウスごと飛ばないように、柱から控え線を張って補強しておく。
- ②棚利用の果樹、特にこれから収穫期となるナシでは、枝の誘引をしっかりと、枝折れや果実の落下を防ぐ（傷果防止）。
- ③徒長枝等はできるだけ整理して、風通しを良くしておく。
- ④収穫できる樹種（モモ等）では、できるだけ収穫する。
- ⑤排水対策（明きょ等）をしっかりと行っておく。
- ⑥収穫終了したハウスやトンネルは、強風に煽られないようビニールを外しておく。

### (2)通過後

- ①落下した果実は、園外に持ち出して処理する。
- ②骨格枝が完全に折れた場合は、鋸等で折れ口をなめらかに切り戻して、癒合剤を塗布する。不完全な場合は固定し、癒合面が乾燥しないようにビニール等で覆う。
- ③冠水した場合は、速やかな排水に努める。
- ④ブドウではべと病、ナシでは黒斑病、モモではせん孔細菌病、カキでは炭疽病等の発生が予想されるので、殺菌剤を散布する。

## < 茶 >

### (1)通過前

- ①新植、幼木茶園は、風害を受けやすいので、株元に土寄せを行う。特に、風当たりの強い箇所では、杭等に茶樹を結束する。
- ②傾斜地茶園では、浸食防止のため土壌表面のマルチや周辺排水溝の整備を行う。
- ③製茶工場では、雨水が浸入しないように十分に点検する。

### (2)通過後

- ①強風で株元が緩んだ園では土寄せし、地際部や根を保護するため敷草等を行う。
- ②土砂が流入した場合は速やかに取り除く、また、表土が流亡している場合は早急に土入れを行う。

## < 農業機械が浸水した場合の取り扱い等 >

### (1)通過前

- ①農業機械は、ほ場に置いたままにせず、台風接近前に作業場等に移動させるなどして、水がつかないように留意する。

### (2)通過後

- ①農業機械が浸水\*した場合、まずは、JA 農機センター・メーカー・整備業者等に連絡して、点検を依頼する。回路ショートや漏電・火災の懸念があるため、点検前には、絶対にスイッチを入れないこと。

(「浸水」とは、トラクター・田植機ではステップ以上、コンバインではシャーシフレーム以上、乾燥機では下部スクリュー以上が水に浸かることを指す)